

広域交通管制システムの効果的活用事例

- 緊急交通路 ■
- 通行不能 ■
- 通行止め ■
- 未供用区間 ⋯



緊急交通路の状況(3月12日)

災害警備時・・・

東日本大震災では発災直後、福島第一原発の稼働が止まり、電源が必要となり、首都圏から電源車等を輸送するため、福島第一原発周辺の交通の実態を把握した。



福島第一原発周辺の交通規制状況



都内の渋滞及び交通規制情報を把握(3月11日)

広域交通管制システムの効果的活用事例

外国要人警備時・・・

平成22年11月13、14日に横浜市で開催されたAPEC首脳会議において、外国要人車列の通過のため実施した首都高速道路等の交通規制の状況及び周辺道路の渋滞情報を本システムで確認するとともに、都県から高速道路の映像を収集した。これによって都県間をまたがる広域な交通規制について、関係都県の統制を図り、車列の通過順路を確保するとともに一般車両に及ぼす影響の軽減を図った。



都内の交通管制状況(11月13日8:30)

警視庁による浜崎橋JCT等における流入規制を実施した結果、中央環状線が渋滞し埼玉県境まで渋滞が延伸した。また、この渋滞に伴い都内幹線道路に渋滞が起こったため、規制方法の見直しを指示し渋滞緩和を図った。



アクアラインの交通管制状況(11月14日17:30)

神奈川県がアクアラインの流入規制を実施した結果、千葉県にある木更津金田IC約15キロまで渋滞が延伸したため、要人の通行に係わる時間のみ規制をするように指示し渋滞解消を図った。